

ホテルクラスの安眠をご家庭で 全国規模のベッド売上を誇る 老舗の家具百貨店

亀屋百貨店

亀屋百貨店（大田区西蒲田、杉山洋子社長、03・3731・2228）は、JR・東急蒲田駅西口徒歩2分、蒲田西口サンライズ通り商店街に店を構える昭和2年創業の老舗家具百貨店。地元では豊富な品揃えと親切な接客で知られ、ビルの地下1階から5階まで広いフロア（延べ床面積820坪）に家具、インテリア、雑貨がぎっしり並ぶ。各フロアには専門知識を持つ店員を配置して、そのきめ細やかな接客や相談対応で来店客の評価が非常に高い。

商品の中でも一番人気はベッドだ。売り場にはフランスベッドやシモンズをはじめ一流メーカーの商品を取り扱い、インターネットでベッドの店外催事を告知して集客、多数販売している。「健康ブームで質の高い睡眠を提供することが求められています」。ベッドやマットに力を入れてきた理由をさりげなく語るのは、杉山修一取締役営業部長。この結果、同社はベッドの全国売上で常に上位にランキングされるほどに成長した。中でも、国産メーカー

のカリモク家具の販売に力を入れている。値段は張るが、素材を吟味しモノづくりの時間をかけるこだわりの家具に対して、その魅力を引き出すため、「カリモクマ



ベッドの品揃えはどこにも負けない



従業員一同、笑顔で来店をお待ちしている

イスター」と呼ばれる専門知識を持った有資格者2名を店内に配置している。

接客は店内に限らず店外の催事も積極的に手掛ける。また、8年前から亀屋百貨店のホームページを開設し、リスティング広告を家具業界でいち早く導入。杉山修一部長も、「地元密着を心掛け、できるだけお客様の声を聞くようにしている。その上でインターネットによる集客やホームページによる売上増を図ってきた。昔ながらの良いものを継続し、現代的な新しい手法も取り入れていくようにしたい」と語る。ネット時代にも適応した先進的取組みが特長でもあるが、顧客の心をつっかりと掴んでいるのは、地元顧客との対話や交流の成せる技だろう。毎年2回、創業祭（6月）と決算月（11月）に全商品割引対象の家具底値市があり、次回は平成25年5月31日（金）から6月2日（日）まで開かれる。詳しくはホームページ亀屋百貨店「検索」まで。